

バリュー・ボンド・ファンド ＜為替リスク軽減型＞（年1回決算型）

愛称：みらいの港

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2018年4月7日～2019年4月8日

第 6 期 決算日：2019年4月8日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として外国投資信託への投資を通じて、世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする公社債等を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざすとともに、外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い為替変動リスクの低減を図る運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第6期末（2019年4月8日）

基準価額	10,212円
純資産総額	1,063百万円
騰落率	-1.1%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufug.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufug.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第6期：2018年4月7日～2019年4月8日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	10,322円
------	---------

第6期末	10,212円
------	---------

既払分配金	0円
-------	----

騰落率	-1.1%
-----	-------

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.1%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

世界の米ドル建て債券市況が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等のコスト等が基準価額の下落要因となりました。

2018年4月7日～2019年4月8日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	118	1.173	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(38)	(0.380)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(77)	(0.760)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	118	1.176	

期中の平均基準価額は、10,100円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

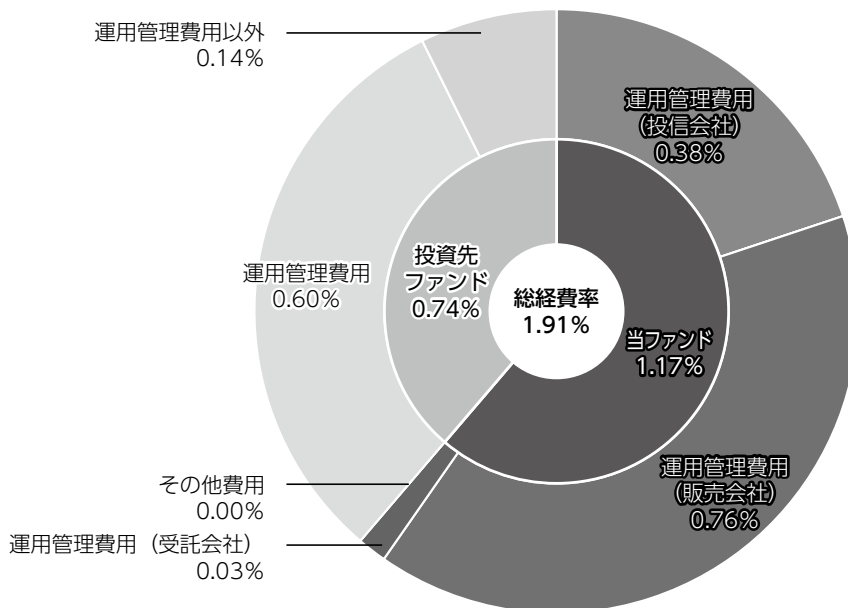
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.91
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.17
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.14

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

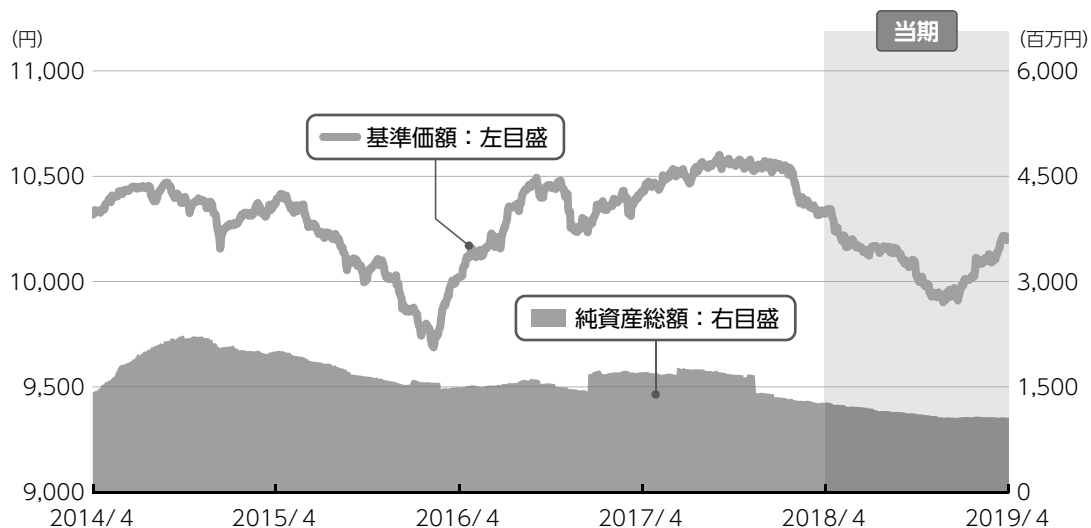
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月7日～2019年4月8日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

	2014/4/7 期初	2015/4/6 決算日	2016/4/6 決算日	2017/4/6 決算日	2018/4/6 決算日	2019/4/8 決算日
基準価額 (円)	10,318	10,367	10,021	10,426	10,322	10,212
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.5	-3.3	4.0	-1.0	-1.1
純資産総額 (百万円)	1,423	2,003	1,494	1,709	1,275	1,063

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第6期：2018年4月7日～2019年4月8日

投資環境について

債券市況の推移 (期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) ブルームバーグ・バークレイズ米ドル建てユニバーサル指数とは、ブルームバーグが算出する世界の米ドル建て債券の値動きを示す代表的な指数です。

ブルームバーグ (BLOOMBERG) は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) の商標およびサービスマークです。バークレイズ (BARCLAYS) は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank Plc) の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス (BLOOMBERG BARCLAYS INDICES) に対する一切の独占的権利を有しています。

国内短期金融市場

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート (無担保・翌日物) はマイナス圏で推移し、2019年4月8日のコール・レートは-0.063%となりました。

債券市況

当期の世界の米ドル建て債券市況は上昇しました。

米連邦公開市場委員会 (FOMC) で政策金利見通しが下方修正されたことや、米中貿易摩擦や英国の欧州連合 (EU) 離脱を巡る不透明感の継続などを背景に、米国とドイツの長期金利が低下したことなどがプラスとなり、世界の米ドル建て債券市況は上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)

主として外国投資信託であるマルチ セクター バリュー ボンド ファンド - J P Yヘッジド クラスへの投資を通じて、世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする公社債等を高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - J P Yヘッジド クラス

基準価額は期首に比べ0.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当該外国投資信託において、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

金利戦略に関しては、米国の景気回復見通し等を背景に、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は市場対比短めにしました。

種別配分では、米国景気の回復が企業の良好なファンダメンタルズと低水準のデフォルト（債務不履行）率をサポートするとの見方等から、ハイイールド社債や

バンクローンなどを積極的に組み入れた一方、米国債などへの配分を少なめとしました。エマージング債券は、足下の景気動向などを考慮し、選択的に組み入れました。また、転換社債については、株価上昇の恩恵を受けやすく、債券対比で魅力的とみられる一部の銘柄を戦略的に組み入れました。

（プラス要因）

米国とドイツの長期金利が低下したこと等を受けて、世界の米ドル建て債券市況が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

（マイナス要因）

金利戦略にて、米国とドイツの長期金利が低下した局面で、デュレーションを市場対比短めとしたこと等が基準価額の上昇幅を抑える要因となりました。

アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インク等の資料（現地月末前営業日基準）に基づいて三菱UFJ国際投信が作成したものです。

(ご参考)

■債券セクター別構成

セクター		比率	
		2018年3月末	2019年3月末
国債	各国政府が発行する債券で、一般的に安全性が最も高い。	10.8%	13.5%
政府機関債	政府関係機関が発行する債券。	0.0%	0.0%
国際機関債	国際的な組織である国際機関が、主に、特定の地域の経済発展や開発プロジェクトへの資金供給のため、発行している債券。	1.3%	0.6%
地方債	地方政府等が発行する債券で、一般に国債同様安全性は高い。	2.0%	1.3%
資産担保証券・モーゲージ証券	資産担保証券は、カード・自動車ローン等のローン債権を担保として、モーゲージ証券は住宅ローン等の債権を担保として発行された証券。	23.8%	25.0%
投資適格社債	企業が発行するB B B格相当以上の格付を付与された債券。	26.4%	26.8%
バンクローン	銀行等の金融機関が主に投資適格未満の事業会社等に対して行う貸付債権（ローン）。	10.2%	7.2%
ハイイールド社債	企業が発行するB B格相当以下の低い格付を付与された債券。	8.7%	9.3%
エマージング債券	新興経済国の政府、政府機関、企業等が発行する債券。先進国の国債等と比較して信用力が低い代わりに利回りが高くなる傾向がある。	10.9%	8.0%
転換社債	一定の条件で株式に転換できる権利のついた社債やこれと同様の性質を有する有価証券。	0.6%	0.5%
その他	上記以外の債券。	4.0%	3.3%
現金等	当ファンドが投資する外国投資信託において保有する現金等。	1.2%	4.4%

(注) 比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合。

(注) 債券セクターは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスの分類を採用、分類されていない場合はアムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクによる独自の分類を採用しています。

(注) 表示のセクター以外の債券がある場合は、「その他」に分類しています。

(ご参考)

■ 格付分布

2019年3月末

格付種類	比率
AAA格	39.0%
AA格	1.8%
A格	8.5%
BBB格	22.3%
BB格	13.5%
B格	4.9%
CCC格以下	0.7%
無格付	5.4%
現金等	4.2%

(注) 実質的な投資を行う外国投資信託が保有する債券等の格付分布を表示しています。

(注) 比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。

(注) 格付は、S & P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

(注) 上記2社の格付を取得していない場合は、無格付としていますが、アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクにおいて独自の格付判断に基づき投資したものです。

(注) なお、付加記号（+、-等）を省略して集計し、S & Pの格付記号に基づき表示しています。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
 基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。
 コール・ローン等短期金融商品を活用し、
 利子等収益の確保を図りました。その結

果、利子等収益は積み上がったものの、
 運用資金に対するマイナス金利適用など
 の影響を受けて、基準価額は下落となり
 ました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2018年4月7日～2019年4月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,324

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)

今後の運用方針

外国投資信託への投資を通じて世界（新興国を含みます。）の米ドル建て債券を高位に組み入れるとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持します。

▶ マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラス

運用環境の見通し

米国は、引き続き成長を続けると見ているものの、米中の貿易を巡る対立等が世界経済の減速につながる可能性も想定されます。

今後の運用方針

金利戦略では、将来の金利変動リスクに備えるため、デュレーションを状況に応じて機動的に対応します。種別配分では、リスクの高い社債等への投資はマーケット動向を勘案しつつ慎重な配分調整を行います。資産担保証券やモーゲージ証券については、堅調な米国の個人消費や住宅市場から恩恵を受け、魅力的な投資対象であると考えことから、引き続き組み入れる方針です。エマーシング債券については、魅力的な水準にある債券を選別的に組み入れる方針です。銘柄選択にあたっては、バリュエーションを徹底的に分析し、良質な債券などを割安な水準で組み入れることをめざします。また、金利サイクルや市場環境の変化などに応じて、投資比率を機動的に変更していく方針です。

なお、当該外国投資信託において、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い為替変動リスクの低減を図る運用を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われる。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

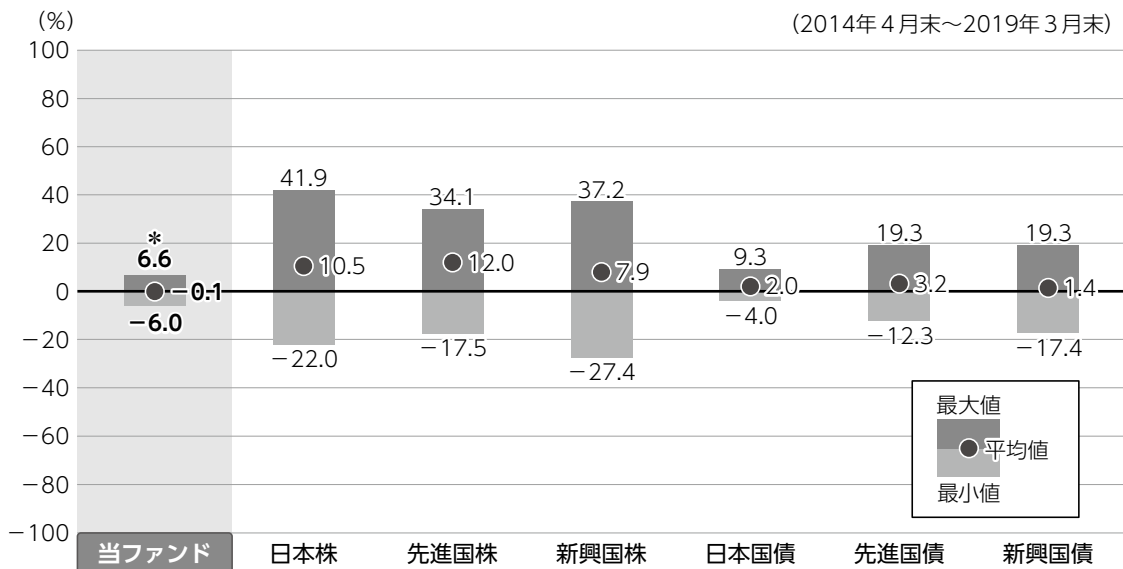
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2023年4月6日まで (2013年7月31日設定)
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるマルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラスの投資信託証券への投資を通じて、世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする公社債等に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。原則として、投資する外国投資信託においては、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減をはかります。投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行います。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラス 米ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2014年7月～2019年3月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年4月8日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第6期末 2019年4月8日
マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラス	99.3%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

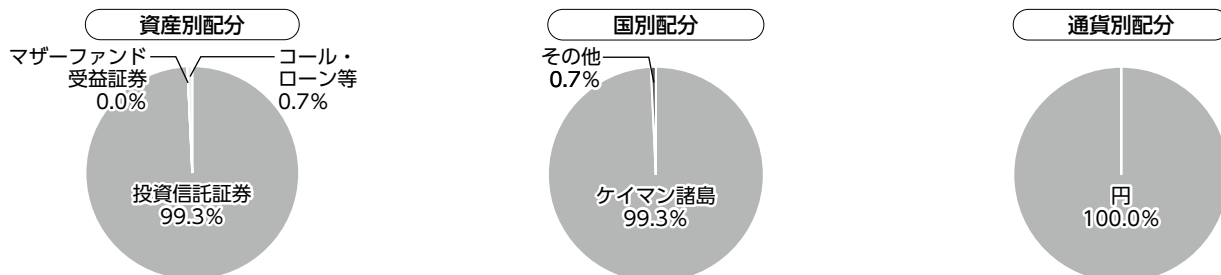
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第6期末 2019年4月8日
純資産総額 (円)	1,063,183,988
受益権口数 (口)	1,041,159,067
1万口当たり基準価額 (円)	10,212

※当期中において追加設定元本は74,041,503円
同解約元本は 268,236,405円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

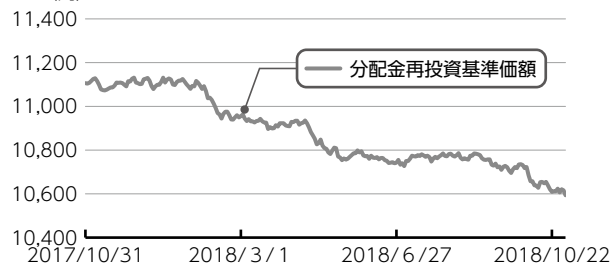
※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2018年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ マルチ セクター バリューストック ファンド - JPYヘッジド クラス

基準価額の推移

2017年10月31日～2018年10月31日
(円)

基準価額以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「マルチ セクター バリューストック ファンド」ベースで表示していません。

▶ マルチ セクター バリューストック ファンド

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：506銘柄)

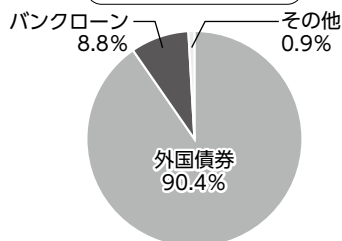
	銘柄名	国別	種別	比率(%)
1	UNITED STATES TREASURY INFLATION INDEXED BONDS	アメリカ	国債	2.7
2	UNITED STATES TREASURY NOTE	アメリカ	国債	2.3
3	UNITED STATES TREASURY BILL ZCP	アメリカ	国債	1.8
4	UNITED STATES TREASURY NOTE	アメリカ	国債	1.7
5	UNITED STATES TREASURY NOTE	アメリカ	国債	1.7
6	UNITED STATES TREASURY NOTE	アメリカ	国債	1.7
7	UNITED STATES TREASURY INFLATION INDEXED BONDS	アメリカ	国債	1.5
8	LIBERTY MUTUAL INSURANCE REGD 144A P/P	アメリカ	投資適格社債	0.9
9	UNITED STATES TREASURY NOTE	アメリカ	国債	0.8
10	FREDDIE MAC GOLD POOL P#G08606	アメリカ	資産担保証券・モーゲージ証券	0.8

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

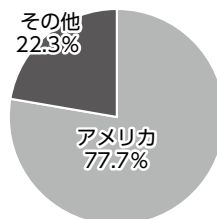
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

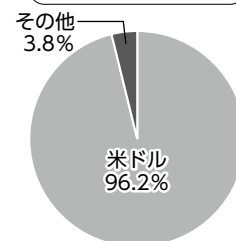
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はファンドの組入資産の純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。

※マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラスにおいて、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行っています。

1万口当たりの費用明細

2017年11月1日～2018年10月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

「参考情報」

費用項目	比率
運用管理費用 (信託報酬)	0.61%
その他	0.14%
費用合計	0.75%

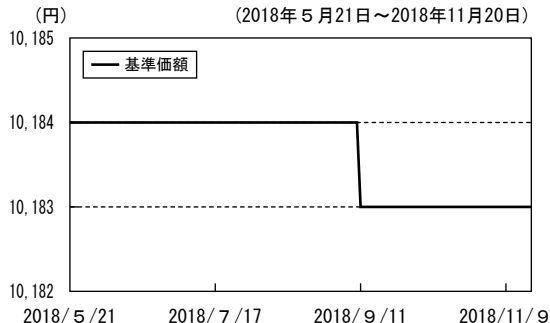
※上記は、FINANCIAL STATEMENTSに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「運用管理費用（信託報酬）」と「その他」に分類して表示したものです。

※比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移



(2018年11月20日現在)

組入上位10銘柄

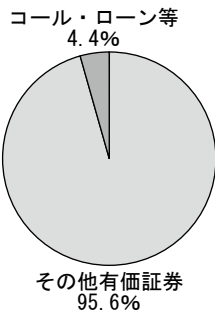
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	アプラスフィナンシャル 181121	其他 有価証券	日本	コマースナル・ ペーパー	53.1%
2	T & D リース 181121	其他 有価証券	日本	コマースナル・ ペーパー	42.5%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

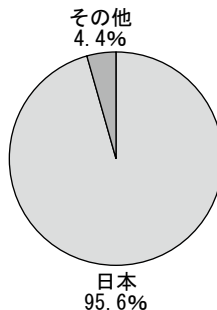
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、其他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

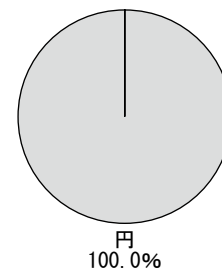
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「其他」に分類しています。
- ・国別配分の「其他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.000%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

(2018年5月22日～2018年11月20日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968469

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● TOPIX (配当込み)

TOPIX (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOPIX) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX (配当込み) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の停止またはTOPIX (配当込み) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。